

## 工場にエアコンの設置事例の紹介

細田木材工業株式会社  
奥村 永徳(第5班)

昨年の組合月報に、年々酷くなる猛暑対策として、工場内エアコンの設置を検討中と記載させていただきましたが、6月にエアコンを設置しましたので報告させていただきます。

工場は新木場移転当時のもので、屋根・壁の断熱性能はありません。シャッターを開けばなしで作業していますが、夏は空気がこもり厳しい環境です。まずは機種探しでしたが、最初に出会ったものは、室内機から一方向に遠くまで冷風を噴き出すタイプで、効果に疑問を持ちました。次に検討したものが、ダクト形式でスポット的に冷風を送るものでした。これは良いと思い業者に現調してもらい、ダクト形式2台の設置を進めていました。但し、買取の設備投資のため予想外の費用がかかることも事実。そんな時、社員からエアコンのリースの提案を受け、業者からの説明を受けました。買い取りに比べて、お金の面でもメンテナンスの面でも格段に良く、さらに希望通りのダクト方式のエアコンが設置できそうなので、ダクト形式1台でのリースを採用しました。



室内機から5本のダクトが出ています



ジャバラの吹き出し口

エアコンはD社製・25kw・電力は3相200ボルトです。室内機から5本のダクトが出ていて、作業者が常時いる場所を想定して、ジャバラの吹き出し口の位置を決めました。多少の範囲で先端の吹き出し口を振ることができます。工事は、6月の土日3日間を要しました。まずは室内機本体の取り付け、次にダクトの設置、最後に結露防止用の断熱材を巻き完成。6月後半からの熱暑に間に合わせることができました。吹き出し口から多少の結露水が漏れるという現象はありますが、工場の技術者からは好評を得ました。会社にとっても懐に優しくかったです。工場全体を冷やすことはできないので、次に必要があれば天井の遮熱シートの設置を考えています。

徐々に猛暑もおさまりつつあると思います。報告が遅れてしまいましたが、ご興味のある方はご来訪していただきご覧ください。